



Social firm Japan Summit in Osaka

第5回 ソーシャルファーム ジャパンサミット in 大阪



ソーシャルファームが地域、社会、日本を変える

2019年 2月16日(土) - 17日(日)
14:00 - 12:00

会場: シティプラザ大阪

大阪府大阪市中央区本町橋2-31

参加費: **5,000円**

交流会費: **6,000円**

主催 第5回ソーシャルファームジャパンサミット
in 大阪 実行委員会

共催 大阪府

後援 厚生労働省、法務省、農林水産省、大阪市、
更生保護法人日本更生保護協会、
認定NPO法人全国就労支援事業者機構、
NPO法人就労継続A型事業所全国協議会、
大阪府社会福祉協議会、大阪市社会福祉協議会、
日本労働組合総連合会大阪府連合会

大阪サミットでは、ソーシャルファームの概念を明確に、
推進するための仕組みを検討します。
ソーシャルファームの概念が日本に紹介され二十年。一般
就労でも福祉的就労でもなく、働くことに何らかの困難を
抱えた人々が活躍できる第三の働く場としてその可能性が
注目され、二〇一六年には超党派のソーシャルファーム推進
議員連盟も発足しました。
時代の変化とともに、障がい者や生活困窮者の福祉制度
や仕組み等も新たに作られたり、改正されたりしています。
「カー、未だに「社会的に脆弱な人々や働く事に困難を
抱える人々」の就労を完全に網羅できる物ではありません。
そんな中、制度から抜け落ちた方を包含できるソーシャル
ファームの必要性は色あせるものではないと考えています。
今サミットでは、制度の拡充だけではなく、ソーシャルファ
ームの役割や必要性、自立性、競争力などを改めて明確に
し、参加者で議論したいと思います。



2019年 2月16日(土) 14:00-17:50

第1部

基調対談 「ソーシャルファームってなに？」

ソーシャルファームジャパン理事長 炭谷 茂氏
関西学院大学人間福祉学部教授 牧里 每治氏

第2部

実践事例報告

① ソーシャルファームを推進する自治体の取り組み

- 東京都「東京都におけるソーシャルファーム」
- 大阪府「大阪府の目指すユニバーサル就労とは」
- 伊丹市「認定就労訓練事業所への随意契約を活用した働く場の創出」
- 伊丹市「就労準備支援事業・認定就労訓練事業の就労自立について」

② 全国や関西でのさまざまな取り組み

- 北海道「農業との共生～ 共働学舎新得農場の取り組み」
- 大阪府「農業で若者支援～アグリ就労支援事業」
- 大阪府「触法障がい者の社会復帰支援」
- 東京府「精神障害があっても安心して自立～多摩草むらの会の就労支援」
- 鹿児島「日本のジャルダンドコカーニュ」

交流会 18:00-20:00 会場:シティプラザ大阪3F

2019年 2月17日(日) 9:30-12:00
(敬称略)

Session1

地域のまちづくりにソーシャルファームを

ファシリテーター:社会福祉法人ライフサポート協会 理事長 村田 進氏
報告者:NPO法人釜ヶ崎支援機構 理事長 山田 實氏
報告者:社会福祉法人ライフサポート協会 障害福祉課長 上田 治彦氏
報告者:大阪市立大学経済学研究科 教授 福原 宏幸氏

Session2

公共市場にソーシャルファームを

ファシリテーター:エル・チャレンジ 代表理事 富田 一幸氏
報告者:立命館大学政策科学部 教授 岸 道雄氏
報告者:大阪市立大学都市経営研究科 准教授 五石 敬路氏
報告者:大阪府福祉部次長 西口 禎二氏

Session3

世界や韓国のソーシャルファーム から日本をみる

ファシリテーター:東京家政大学 名誉教授 上野 容子氏
報告者:(公財)日本障害者リハビリテーション協会 参与 寺島 彰氏
報告者:(公財)日本財団公益事業部 国内事業開発チーム 竹村 利道氏
報告者:宇都宮大学 地域デザイン科学部 専任講師 呉 世雄氏

Session4

ソーシャルFarm(農福連携)でソーシャルFirmを目指せるか

ファシリテーター:コトネ編集長 里見 喜久夫氏
報告者:株式会社パーソナルアシスタント青空 佐伯 康人氏
報告者:埼玉福興株式会社 代表取締役 新井 利昌氏
報告者:社会福祉法人一麦会 ソーシャルファームもぎたて 代表 中原 力哉氏

お申し込み・お問い合わせは
実行委員会事務局まで
〒540-0006
大阪市中央区法円坂 1-1-35
エル・チャレンジ内
電話: 06-6920-3521
FAX: 06-6920-3522
Mail: sf@l-challenge.com

